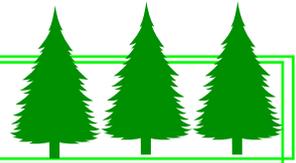




みつぎ便り



第170号 11月号 令和2年11月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report



板橋区役所みどり公園課の花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

サルノコシカケ

電話ボックスの脇の急坂を登った所に、数本のケヤキの巨木があり、その一本の根本に写真のキノコが生えています。残念なことに、地上三十cmほどの位置に生えているので、「サルノコシカケ」のイメージがわきませんが、高い場所に生えていると思ってください。

学術的には端子菌類（たんしきんるい）で種類はたくさんあります。



質感は普通のキノコと違い、木や革のように丈夫で固くハンマーなどで叩かないと採取出来ません。

中国では古くから漢方薬や滋養強壮に用いられており、日本でも癌治療に効果があると一時期ブームになったと記憶していますが、真意のほどはわかりません。
(安)

カネヒラ

まだまだ続きそうなのこのコロナ禍ですが、先日テレビで、密になりにくいレジャーの一つとして釣りを紹介していました。最近は特に若い方や、女性のレジャーに釣りがブームになっているそうです。公園では、天気の良い休みの日には、子ども連れの家族が釣りに来ている姿も見られます。

以前、タナゴを「みつぎ便り」の中で紹介しましたが、このタナゴの仲間、最大級のカネヒラはご存じでしょうか？



日本のタナゴの種類は二十種類ほどあり、その中でもカネヒラは最大で十五cm程もあります。このオスは繁殖期になると、背は光沢のある黄緑色に、体側は淡い青緑色に、腹面や背ビレはピンク色に染まります。

タナゴ釣りは、愛好家の話によると奥が深く、魚自体は他の釣りとは比べ小型ですが、当たりの取り方、竿を含めた道具の凝り方など色々と嗜好が分かれるとのこと。 (圭)